



みどりの子

令和6年11月号

所沢市立荒幡小学校
校長 小林 雅行

自分自身を鍛錬する

秋の日ざしにしては、まだまだ暑さを感じる日もありますが、朝、晩の冷え込みからは、秋の訪れを感じる今日この頃となりました。二学期も後半を迎え、それぞれの子供たちが毎日の学校生活を元気に頑張っています。

さて、10月19日の運動会では、体育で学んだことを発表する場として、全校児童で一生懸命取り組みました。日頃の練習の成果が十分に発揮できたと言ってもいいのではないのでしょうか。毎日の生活の中にわずかな時間をみつけ、子供たちが力を合わせ練習した結果の賜であり、非常に喜ばしいことでした。また、運動会当日にはPTA役員の皆様に、様々な面でご協力をいただきました。学校と家庭が協力し合い、チーム学校として取り組んでいくことの大切さを改めて実感させていただきました。本当にありがとうございました。

ところで、宮本武蔵の五輪書に、『鍛錬』の二文字があります。

「千日の稽古をもって鍛とし、万日の稽古をもって錬とす」

「鍛錬」の語源となっています。

千日とは1,000日のことであり (1,000÷365=2.8) 約2年9ヶ月を示す。
万日とは10,000日のことであり、(10,000÷365=27.4) 約27年5ヶ月を示す。

ということで、鍛錬とは、長い期間、長い時間をさします。

「鍛」は基礎が定着するということであり、「錬」は一つの道として揺るぎなく完成することです。

つまり、鍛錬とは継続的な努力・精進の大切さを説いた言葉であるといえます。
『五輪書』(宮本武蔵)

学校の年間行事は、運動面においては運動会、二校親善体育大会、ペース走記録会など、音楽面では校内音楽会、市内音楽会など、様々な学校行事があります。

上述した『鍛錬』にあるように、学校行事を始め、様々な取組を実りあるものとするためには、普段から授業に参加する際の意識の持ち方や取り組み方がとても大切であり、しかも継続することが大切だといえます。そのために本校では、教職員から児童への励ましの言葉を意識的に投げかけ、結果を褒めるのではなく、過程を褒めるようにしています。ぜひ、各御家庭におかれましても、結果のみに焦点を置くのではなく、且の前の困難に挑戦するお子様の勇気と努力に惜しみない励ましや声援をおくっていただきたく思います。

学校と家庭がベクトルの向きをそろえ協働しながら、お子様の健やかな成長を促していくことこそ、今日の学校教育に求められる大きな役割の一つだと考えています。

令和6年も残り二か月となりました。引き続き、本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

子供たちの活動の様子をホームページ(R6今日の出来事)にアップしています。

所沢市立荒幡小学校

検索



二次元コード